CASBEE静岡

CASBEE建築(新築)2016年版 ver3.0対応

欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	(仮称)プラザアピア静岡　新築工事	BEE	0.5	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点		取組み度	評価
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	2.0	/5		がんばろう
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.5	/5		がんばろう
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.1	/5		がんばろう
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	1.9	/5		がんばろう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点)

評価　凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

内訳対応項目

“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)　得点 2.0

配慮内容						
■室内環境対策　(①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④耐用年数の長い外壁仕上材を採用している。 ④耐用年数の長い内装仕上げ材を採用している。 ④耐用年数の長い設備機器を採用している。	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
			3.2	3.2.1	③	昼光制御
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
				2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
				2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
				2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔
				2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔
				2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔
■室外環境(敷地内)対策　(⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥積極的な緑化等により敷地内温熱環境の向上に配慮している。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策　(⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ・評価対象外(省エネ計算対象外のため)。	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
		2			⑧	自然エネルギー利用
		3			⑨	設備システムの高効率化
		4	4.1		⑩	モニタリング
			4.2		⑩	運用管理体制
■資源・マテリアル対策　(⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫内装仕上材を用いず、内装材と設備が容易に取り外すことが出来るよう配慮している。	LR-2	1	1.1		⑪	節水
			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
				1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
		2	2.1	2.1.1	⑫	材料使用量の削減
				2.1.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用
				2.1.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
				2.1.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
				2.1.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材
				2.1.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
		3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用
			3.2	3.2.1	⑬	消火剤
				3.2.2	⑬	断熱材
				3.2.3	⑬	冷媒
■敷地外環境対策　(⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮主風向に対する見付面積比を80%未満とした。隣棟間隔指標を0.5以上とした。	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮
		2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善

“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)　得点 2.5

配慮内容						
■サービス性能対策　(⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰電気設備への浸水の危険性がない。	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
				2.1.2	⑯	免震・制振性能
			2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
				2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
				2.4.3	⑰	電気設備
				2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
				2.4.5	⑰	通信・情報設備

“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)　得点 2.1

配慮内容						
■サービス性能対策　(⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳壁長さ比:0.3未満とした。	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
		3	3.1	3.1.1	⑳	階高のゆとり
				3.1.2	⑳	空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策　(㉑地域性・アメニティへの配慮) -	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上

“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)　得点 1.9

配慮内容						
■室外環境(敷地内)対策　(⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥積極的な緑化等により敷地内温熱環境の向上に配慮している。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
		2			㉒	まちなみ景観への配慮
		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策　(⑮温熱環境悪化の改善) -	LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善

CASBEE-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要

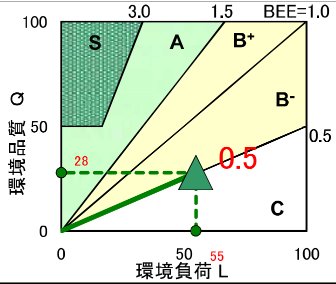
建物名称	(仮称)プラザアピア静岡 新築工事	階数	地上4F
建設地	静岡県静岡市駿河区中吉田310-1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年8月22日
敷地面積	6,293 ㎡	作成者	株式会社朝日建装 横山光
建築面積	3,553 ㎡	確認日	2019年8月22日
延床面積	12,896 ㎡	確認者	株式会社朝日建装 押谷

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

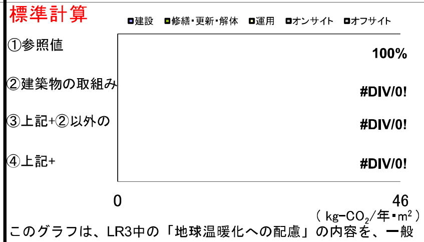
BEE =0.5 ★★

S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



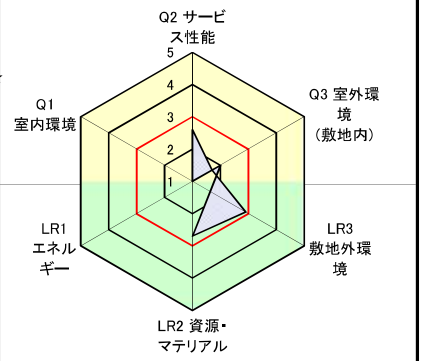
2-2 ライフサイクルCO$_2$(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

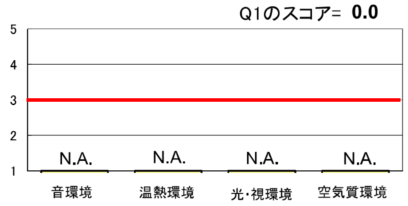
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



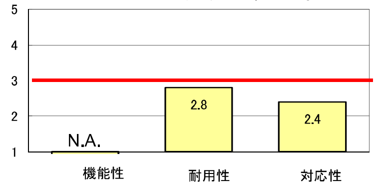
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア= 2.1

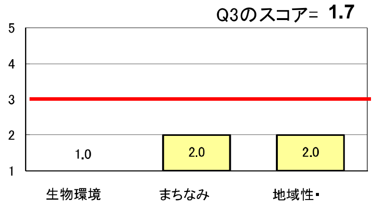
Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0



Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.6

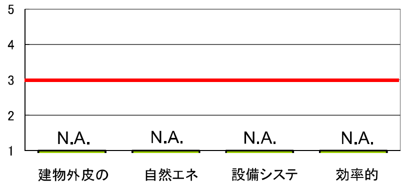


Q3 室外環境（敷地内） Q3のスコア= 1.7

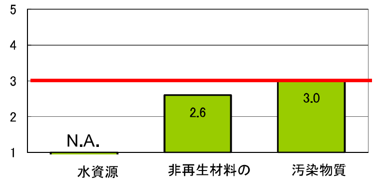


LR 環境負荷低減性 LR のスコア= 2.8

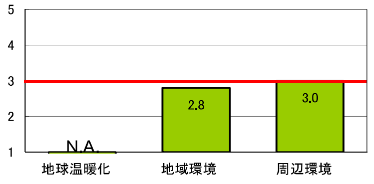
LR1 エネルギー LR1のスコア= 0.0



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7



LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.9



3 設計上の配慮事項

総合

静岡市にある複合施設の敷地内に計画された立体駐車場である。
耐用年数の長い材料の採用や空調熱源機器及び高温排熱の設備機器を設置しないことにより、環境負荷に配慮した建物である。

その他

・特になし。

Q1 室内環境

・評価対象外

Q2 サービス性能

・耐用年数の長い外装材・内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

・敷地内は緑化し、温熱環境の向上やまちなみに配慮している。
・空調熱源機器及び高温排熱の設備機器を設置しないことで、敷地内温熱環境の向上に配慮する。

LR1 エネルギー

・評価対象外

LR2 資源・マテリアル

・内装仕上材を用いず、内装材と設備が容易に取り外すことが出来るよう配慮している。

LR3 敷地外環境

・燃焼機器を設置せず、大気汚染防止に配慮している。
・広告物照明を設置せず、周囲への漏れ光に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO$_2$」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO$_2$排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される